

オーナーblog 第9話 「いつのまにか、展開可能な状況に」 (2023.9.30.)

もの事は、見方によって大きく未来が違ってくる。どのような未来を創り出すかはその選択で決まる。意識下には無意識が広がっている。デジタル教材を私が作成し続ける“意識”は、スタッフ任せでは満足のいくレベルになり得なかったからである。そのレベルは2点になる。

①まじめで勤勉なら、中上位の学力で加古川東西高合格が現実になる。

②思考方法や学習習慣の体得により、その後の現役国公立大学合格が実現できる。

“無意識”では、神吉中学エリアだけでなく、求める市場に“いくせい流”を提供する準備をしていたようにも思える。チャンスと選択により、結果の可能性が生まれるのである。

市場対象は、兵庫県公立高校受験者と設定していた。

受験科目のデジタル化において、『英語授業ノート』の完成度が不十分だった。

不思議なご縁から作成することとなり、年度末には、解説スライドショーと達成テストも完成する予定である。

コロナ流行から世界的にオンライン環境が普及されたことが、市場を現実化した。

「買って下さい」と言えない性分なので、モチベーションは“必要とされること”になる。

“いくせい流”の学習理念や行動変容が、結果を創造する対象に働きかけていくことも可能になったと思い始めている。少子化のすすむ集落へのオンライン学習の提供である。

そのために必要なことは、県内教育「変革期」の自覚である。

常識にとらわれない新たな創造は、理念や教材だけでなく“システム改革”が重要になる。

プロ野球で言えば、学生スタッフも選手で主役になれるサポート体制を、球団として創り上げれば、いくせい塾卒業生も、更に豊かで幸せな社会人に成長できるとイメージする。